

不動産テック

最新サービス

電線

非接触・非対面で受付

AIで顔認証、スマホのみで決済まで



「不動産」 吉田 美一氏

「不動産」の「不動産」は、スマートフォンのみで、顔認証、AIによる音声対話、そして決済まで、すべて非接触・非対面で完了する。これは、コロナ禍における新しい接客スタイルの代表例である。従来の受付業務は、多くのスタッフが手作業で行っていたが、現在はAIが代替し、顧客のプライバシーを保護しながら、迅速かつ正確なサービスを提供している。

多言語に対応

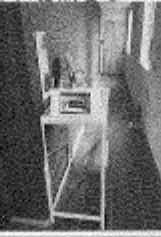
自動で本人認証

ホテルのチェックインやイベントの参加者受付では、顔付きの本人認証が求められる。AIによる顔認証技術は、本人の顔写真をデータベースに登録し、チェックイン時にカメラで撮影された顔と照合することで、本人であることを確認する。また、多言語対応の音声対話システムも導入されている。これにより、外国人観光客や海外からの参加者もスムーズに受付業務を受けられるようになった。

AIが標準仕様

カスタマイズ可能

AIが標準仕様として導入されることで、各施設が独自のサービスを提供できるようになった。例えば、ホテルではチェックイン時の案内や、イベント会場では来場者の動向分析などに活用されている。また、AIは学習能力があり、顧客の行動パターンを分析して、最適なサービスを提供できるようになる。これは、顧客満足度の向上に大きく貢献している。



AIが標準仕様として導入されることで、各施設が独自のサービスを提供できるようになった。

「非接触・非対面」のニューノーマル仕様のチェックインシステム「manekive(マネキー)」は、本人認証やスマートロック連携が可能、応用範囲が広い多機能タブレットだ。電線(東京都港区)が本年5月にサービススタートしたホテル・スターとしたホテル。初期費用安くタブレット1台、チェックインの待ち時間は、まず各宿泊施設のオンラインサインインで予約完了。予約完了後、スマートフォンから入館コードを受け取り、チェックイン完了。チェックイン完了後、スマートロックが自動的に開錠される。また、AIによる音声対話システムも導入されている。これは、顧客の行動パターンを分析して、最適なサービスを提供できるようになる。これは、顧客満足度の向上に大きく貢献している。